

今年の忘年山行は景色と歴史の峠道を歩きます

忘年会&碓氷峠／アプトの道

実施日 2014年12月7日(土)～8日(日)

天候 晴れ

リーダー 一柳 昭

参加者 若村貴世子、齋恵美子、金丸徐子、若村勝昭、服部美千代、佐藤金治、一柳昭、涌井良明、大村巖、鈴木政三、山崎富美恵、鈴木恵美子、安田三恵子、小村井好枝、荻野智恵子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、岩崎陽子、松丸恵美子、徳丸敬子、矢作多恵子、白石佐恵
計28名

費用 新宿駅⇄横川駅 4,420円

宿泊費12,000円 合計16,420円

タイム 7日 横川駅(13:45～13:50)碓氷峠鉄道文化むら(13:53～15:55)(送迎^送)国民宿舎裏妙義(16:15)

8日 国民宿舎裏妙義(8:55)(送迎^送)熊ノ平駐車場(9:20)熊ノ平(9:25～9:38)-10号隧道-9号隧道-8号隧道-7号隧道-6号隧道-めがね橋(第3橋梁)(10:05～10:40)-5号隧道-4号隧道-3号隧道-碓氷湖(11:05～12:13昼食)-2号隧道-旧中山道(12:30～12:35)-1号隧道-旧丸山変電所(12:54～12:58)碓氷関所跡(13:18～13:22)-碓氷峠鉄道文化むら(13:29)横川駅(13:32～13:51)

7日 横川駅で集合の後、隣にある碓氷峠鉄道文化むらに移動する。

ここは碓氷峠と鉄道の歴史のテーマパークで旧信越線の鉄道車両が一同に集められており又鉄道資料館も併設されている。



アプト式ラックレールとアプト式電気機関車を見た後は自由行動に

なり各自、鉄道車両を見たりミニSLやイギリスから輸入された本物のSLに乗って童心に帰っていました。

鉄道資料館には碓氷峠の鉄道の歴史や「碓氷峠ジオラマ」が見られ鉄道ファンでなくても十分楽しめました。

忘年会(18:00～20:00)

送迎バスで国民宿舎裏妙義に到着後、忘年会までの時間は風呂に入ったり、軽く一杯やっていたが役員達は準備で大忙し。



忘年会は涌井会長の挨拶・乾杯の音頭で始まった。美味しい料理をいただきお



腹が一杯になったところで恒例のビンゴゲームが始まった。

特製のカード

を参加者に一枚ずつ引いてもらい、これまた山岳用語のビンゴカードでビンゴがでる方法で大変盛り上がりしました。

沢山の景品を提供していただきありがとうございました。

二次会は男性の部屋で始まり、これまた盛り上がりましたが翌日の山行を考慮して早めにお開きとなりました。

8日 国民
宿舎裏妙義
から送迎車
で熊ノ平へ
着く。

昨年の4
月にめがね

橋から熊ノ平までアプトの道が延伸されたのでここがアプトの道の折り返しポイントになっている。



アプトの道はアプト式時代の旧信越本線跡を利用した遊歩道（全長

7.5 km）で多くのレンガ造りの隧道、橋梁、駅、変電所などがある。横川～軽井沢間で唯一の平坦地であった熊ノ平駅は上下線の列車が待ち合わせてすれ違いしていた所である。

ここから10号隧道～6号隧道の5つの隧道を抜け、めがね橋（第3橋梁）からいったん国道に降りて下から見上げる。通称めがね橋とよばれている4連アーチ橋は、



現存するレンガ造りの橋では国内最大規模で重要文化財に指定されており見る者を魅了する。

元に戻り5号隧道～3号隧道を抜けアプトの道をいったん外れ碓氷湖に下りる。

予約してある昼食が届くまで碓氷湖遊歩道を散策する。予約してあったおぎの屋の「峠の釜飯」が届き昼食をとる。



再びアプトの道に戻り2号隧道、江戸時代の旧中山道、1号隧道、旧丸山変電所、碓氷関所跡、碓氷峠鉄道文化むらを経て横川駅に着き解散した。



江戸時代の旧中山道、1号隧道、旧丸山変電所、碓氷関所跡、碓氷峠鉄道文化むら

（記・一柳 昭）

（写真提供・涌井良明／伊藤久雄）

